



## 第4回 感覚・知覚心理シンポジウム

### 福祉環境の設計における感覚・知覚

#### ◆主旨

高齢者や障害者を対象とした福祉住環境は社会的関心が高く、近年めざましく改善が進んでいる。感覚・知覚心理研究の分野においても福祉環境を扱う例が増えている。こうしたなかこのシンポジウムでは、感覚・知覚心理研究が福祉環境の設計にどのように貢献できるのか、改めて考えてみたい。プログラムではまず、医療・福祉施設の設計を数多く手がけておられる二井るり子氏に、設計の実際について基調講演をいただく。次に障害者や高齢者の光、音、熱、空気環境に対する感覚・知覚心理について、小委員会委員が話題を提供する。そして総合討論の部において、設計者と研究者が意見交換をおこなう。福祉関係者や福祉環境の設計に興味のある建築家にも、ぜひご参加いただきたい。

#### ◆プログラム

13:15-13:20	ご挨拶	梅宮典子 (大阪市大)
13:20-13:25	主旨説明	光田恵 (大同大学)
13:25-14:15	福祉施設的环境設計について	二井るり子 (二井清治建築研究所)
14:25-14:40	視覚障害者の嗅感覚：閾値測定の事例	竹村明久 (摂南大学)
14:40-14:55	ロービジョン者の光環境	池上陽子 (奈良女子大学)
14:55-15:10	高齢者との音声コミュニケーションを考慮した室内音響設計	佐藤逸人 (神戸大学)
15:15-15:30	視覚障害者の感覚・知覚と一人歩行のための触地図	原田昌幸 (名古屋市大)
15:30-15:45	アクアリウム環境に対する高齢者の反応分析	合掌頭 (岐阜大学)
15:45-16:00	知的障害者グループホームの室内温熱環境と体温調節行動	西尾幸一郎 (山口大学)
16:10-17:00	総合討論	司会:光田恵 (前出)

主催—日本建築学会 環境心理生理運営委員会 感覚・知覚心理小委員会  
 日時—2019年7月20日(土) 13時15分～17時00分  
 会場—大阪市立大学杉本キャンパス 学術情報総合センター1階 文化交流室  
 (〒5558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138) JR阪和線 杉本町駅東口すぐ  
<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access>  
 参加費—会員2,000円、会員外3,000円、学生1,000円(資料代含む)  
 定員—80名(申込先着順、7月13日〆切)  
 申込方法—参加者氏名、所属、会員種別を明記の上、メールにてお申し込みください。  
[kankakutikaku@gmail.com](mailto:kankakutikaku@gmail.com) (担当:名古屋市立大学 原田昌幸)  
 問合せ—日本建築学会事務局 事業グループ 伊佐野  
 TEL: 03-3456-2057 E-mail: isano\*/aij.or.jp /\*/を@に変えてください。